

(投稿)

7月6日 原発反対首相官邸抗議デモに参加して元気をもらいました。

毎週金曜日にツイッターなどの呼びかけに応じて、原発反対の抗議デモが午後6時頃から首相官邸を包囲する形で行われています。回数を経るにしたがい毎回、当初の数千名から数万名の規模に発展しています。

福島原発の事故は収束しておらず、事故の原因もつかめていない中で、野田首相が安全宣言を行い大飯原発を再稼働させたことは全く納得がいきません。本来ならば、原発に頼らないエネルギー政策へ転換すべき状況にあります。安全な原発などないという現実に対してドイツ、イタリアなどでは国民の声を尊重して原発ゼロに政策転換を行っています。

地震列島で3.11東北大震災を契機に活発な地震活動に脅かされる中、原発事故は二度と許されてはいけないはずです。放射能汚染は子どもの将来や食べ物へ大きな影響を免れません。

色んな想いをもちながら、7月6日の抗議デモに参加しました。

小雨の中、夕方6時頃から国会議事堂横手の首相官邸周辺に抗議デモに参加する人たちが続々と増え、どこからともなく「再稼働反対」「原発なくせ」のシュプレヒコールがわき上がっていました。若者、女性、赤ちゃん・子ども連れ、通勤帰りの人、外国人、尼僧・・・多くの人が手作りのプラカードなどで原発反対の意思表示を行っています。

みんな自由な雰囲気、抗議の怒りを静かに発散させています。途切れなく続く抗議の流れは、「原発ゼロ」「再稼働反対」で意思がひとつになって凄いエネルギーを感じさせていました。

ニューヨークから戻ってきたばかりの音楽家の坂本龍一さんが「今回やっと官邸前にこれました。一人の日本人として僕も参加したいと思って来ました。みんなであきらめずに声をあげましょう。」と訴えました。

一人の退職者として首相官邸への抗議デモに参加して、「子どもたちの幸せな将来」を願うと共に、「原発反対のみんなの思いはひとつ」の大きな元気をもらうことができました。また、参加してみたいと思っています。